

アイデアの芽吹き ~vol.69

加盟店様の事例、他業界の取組み、商品の使用感等7行7の「種 (SEEDS)」となる情報を毎月中頃に配信！



「盲点の窓」を開いて成長！ ~他者の目で「気づき」を得る~

「年功序列・終身雇用制度は過去のもの」と言われて久しく、日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等にとって替わられるとも推計されており、求められる能力や技術なども日々変化していると聞きます。長い仕事人生を充実させるために、学び続け、成長することが大切とのこと。

今回は、成長に繋がる「気づき」を得るための分析方法について、ご紹介させていただきます。



＜他人から見た自分と自身で考える自分を分析＞

人から指摘されるのを待つのではなく、自分から積極的に動いて、どう改善すべきか指摘してもらうことが肝要とのこと。方法として、

他人とのコミュニケーションをスムーズにするための分析方法である「ジョハリの窓」を利用すると良いそうです。下図のように、縦に「他人軸」、横に「自分軸」を置いて、それぞれにあてはまるとする項目を数人で書き出し合うことで、



主観的に見た自分と客観的に見た自分を知ることが出来るのだとか。他の人に「自分を映し出す鏡」になってもらい、自分の考え方や言動を正すのに役立つ**客観的な意見をもらうことで、自分が学ぶべき点に「気づく」ことが出来る**そうです。

	自分は知っている	自分は気が付いていない
他人は知っている	A：解放の窓 自分も他人も知っている	B：盲点の窓 自分は気が付いていないが、他人は知っている
他人は気が付いていない	C：秘密の窓 自分は知っているが、他人は気が付いていない	D：未知の窓 誰からもまだ知られていない自己

＜「盲点の窓」に注目し自分が知らない点に気づく＞

指摘をしてもらう場合は、**良い点も悪い点も遠慮なく話してもらうことが必要**とのこと。ただし、自分を知って成長に役立つと言われても、悪い点ばかり指摘されるとへこんでしまいますし、人間関係がギスギスする可能性もあります。それを防ぐために、厳しくずけずけとモノ申すけれども、客観的な意見をくれる「緊張屋さん」タイプと、おっとりして温かい励ましをくれる「安心屋さん」タイプ…というように、性格のタイプが異なる人を集め、**良い点・悪い点を取り交ぜつつ、具体的**



な行動についての指摘と、自分の成長に役立つ情報を聞き出すと良いとのこと。具体的には、

「状況：どこで、どんな時に」

「行動：どんな行動をしたことが」

「影響：どんな風に良かった・悪かった」

という視点で指摘をしてもらい、それらを踏まえて自分の改善については、

「何が起こったのか」
「何が良くて何が悪かったのか」「これからどうするか」

を考えて行動を起こすことが成長に繋がっていくそうです。

＜改善が無理なら思い切って過去の知恵を捨てる？＞

指摘を受けた内容の中には、多少行動を直すだけではとても改善出来そうにないことがあり、これまでの自分のやり方を根本的に見直す必要が出てくるかもしれません。**社会の変化スピードが速い為、過去に通用しても今は通用しないものが沢山ある**とのこと。必要とされなくなった技術、通用しなくなった概念、今では役に立たない経験などに固執せず、思い切って捨て去る「アンラーニング（学習棄却）」という方法を取ることで、自分が変わるきっかけが生まれるそうです。



必要とされなくなった技術、通用しなくなった概念、今では役に立たない経験などに固執せず、思い切って捨て去る「アンラーニング（学習棄却）」という方法を取ることで、自分が変わるきっかけが生まれるそうです。

＜ご年配の方もiPhoneを使いこなします！＞

最近街中でも、スマホを操作されるご年配の方をお見かけするようになってきました。とある集まりの中にご年配のおばあちゃんがありますが、ご自身で

「私は昔から好奇心が旺盛なのよ」とおっしゃるだけあって、iPhoneで写真を撮り、それをお孫さんとLINE（ライン）でやり取りされるなど大変アクティブで、おいくつになっても好奇心を持って学ばれています。なお、弊社では現在、ご年配の方でも安心簡単操作の、スマホで取引計算書の精算が出来る新機能を開発中です。ご期待ください！

